

～令和3年度 品川区予算が成立～

●発行：品川区議会公明党 幹事長：若林ひろき ●〒140-8715 品川区広町2-1-36 TEL 03 (5742) 6817 FAX 03 (3774) 3366

子育て・障がい福祉

産後の家事・育児・多胎児支援を拡充

専門資格(産後ドゥーラ等)をもった支援者によるサービス利用の助成内容を拡充します。

	現在	拡充後
助成対象	生後6か月未満の乳児	生後1年未満の乳児
助成額拡大	1時間につき2,000円	1時間につき2,700円
利用限度 時間拡大	20時間	第1子 60時間
		第2子以降 兄弟の年齢が3歳未満180時間 兄弟の年齢が3歳以上20時間
		多胎児 妊娠中から1歳未満240時間 1歳から2歳未満180時間 2歳から3歳未満120時間

☎ 子ども家庭支援センター ☎03-6421-5241 FAX 03-6421-5238

3歳未満の多胎児がいる世帯が、0歳～2歳時に専門職による面接を受けた場合、移動経費の補助として年間24,000円分の品川区共通商品券を配布します。

☎ 品川保健センター ☎03-3474-2000 FAX 03-3474-2034

医療的ケア児とその保護者の地域生活を支援

大原児童センター1階で専門スタッフのもと医療的ケア児の親子が安心して過ごせる場を提供し、①安心して遊べる環境、②医療的ケア児親子同士の交流、③健常児の親子との「インクルーシブひろば」創設により支え合う地域を育みます。

☎ 障害者福祉課 ☎03-5742-6706 FAX 03-3775-2000

防災・安全・まちづくり

新しい防災ラジオの導入

令和4年11月末のアナログ波の終了に伴いデジタル波対応ラジオを製造し、令和4年度に販売予定。購入費助成も検討します。

☎ 防災体制整備担当課 ☎03-5742-7850 FAX 03-3777-1181

高齢者・障がい者避難の個別計画作成

災害時に自力での避難が難しい高齢者や障がい者などの避難を支援するため、区・防災区民組織・福祉関係者が連携して避難の個別計画を作成します。

☎ 防災課 ☎03-5742-6694 FAX 03-3777-1181

公共喫煙所の整備と喫煙用トレーラー活用

民間事業者が喫煙所を設置する場合、一般に開放して公共喫煙所とすることなどを条件に設置費用や維持管理費を助成。また、東京2020オリンピック大会期間中の来街者用の喫煙所として喫煙用トレーラーを活用します。

☎ 生活安全担当課 ☎03-5742-6584 FAX 03-5742-6878

教育

ひとり1台のタブレットで「GIGA」スクールがスタート

児童・生徒にタブレットが配布されました。全ての教員がタブレットを活用して効果的な授業ができるよう、各学校へのICT支援員の派遣回数を年間51回に拡充します。

☎ 学務課 ☎03-5742-6827 FAX 03-5742-0180

電子図書館と書籍除菌機の導入

スマホや自宅のパソコンで貸出・返却のできる電子図書館とスマホ等で視聴できる音楽データベースを導入。また、書籍除菌機を全11館に設置し、感染拡大防止を期待できます。

☎ 品川図書館 ☎03-3471-4667 FAX 03-3740-4014

健康

ガン対策

がんに関するホームページを作成し、相談先や緩和ケアなど情報を集約して、がん患者や家族への情報提供を強化するとともに、がん検診の受診率向上に繋がるよう啓発リーフレットを刷新します。また、40・50代の女性のがん検診未受診者には、再勧奨する通知をします。

☎ 健康課 ☎03-5742-6742 FAX 03-5742-6883

高齢者肺炎球菌ワクチンの自己負担額軽減

10月1日以降の接種から自己負担額が4,000円から1,500円に軽減されます。

☎ 保健予防課 ☎03-5742-9152 FAX 03-5742-9158

にぎわい

プレミアム付き区内共通商品券

プレミアム率10%の商品券を総額8億8千万円分(春・秋季ともに4億4千万円)発行。

☎ 商業・ものづくり課 ☎03-5498-6331 FAX 03-3787-7961

コミュニティバス試行運行へ

運行事業者の選定や車両準備、バス停の整備を進め、令和3年度末からの試行運行を目指します。

☎ 都市計画課 ☎03-5742-6757 FAX 03-5742-6889

デジタル化

自宅で戸籍証明・住民票の請求が可能に

戸籍や住民票をスマホで申請し、手数料をクレジットカードのオンライン決済にすることで、郵送での受取りを可能とします。

☎ 戸籍住民課 ☎03-5742-6655 FAX 03-5709-7625

区の窓口でキャッシュレス決済

住民票の写しやオアシスルームなどの各種手数料や利用料、税や保険料の支払いが、交通系ICカードやPayPayなどのキャッシュレス決済で可能になります。

☎ 情報推進課 ☎03-5742-6617 FAX 03-5742-7164

高齢者向けスマホ教室

平塚橋高齢者多世代交流支援施設でスマホ教室を新設します。週1回で全4回の教室を11コース開催します。他にもスマホアプリのワンポイントセミナー、スマホ・タブレットマスター養成講座を開催します。

☎ 高齢者地域支援課 ☎03-5742-6732 FAX 03-5742-6882

新型コロナワクチン接種体制

新型コロナウイルス感染症を収束させる決め手となるワクチン接種体制を整備します。5月上旬以降に高齢者の方から接種券を発送します。接種は無料です。

接種までの流れ

接種券を住所地に郵送

接種を受ける接種会場や医療機関を決め、電話やインターネットからご自身で予約

予約した日時に、区より郵送される「接種券」と「本人確認書類(運転免許証・健康保険証・マイナンバーカードなど)」を持参のうえ接種会場へ

国が決定した接種順位

- ① 高齢者 (昭和32年4月1日以前生まれの方)
- ② 高齢者以外で基礎疾患を有する方
- ③ 高齢者施設等の従事者
- ④ 60歳～64歳の方
- ⑤ その他の方 (16歳未満は除く)

品川区新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター

☎03-6633-2433 Fax 03-6684-4845

受付時間：午前9時～午後5時(火曜日は午後7時まで)
※土日祝日も実施 ※英語・中国語も対応

品川新型コロナウイルス相談チャット

厚生労働省ワクチンコールセンター

☎0120-761770 (フリーダイヤル)

受付時間：午前9時～午後9時
※土日祝日も実施



令和3年第1回定例会の会派質問

新型コロナウイルス感染症対策

- Q 自宅療養者対応、コロナワクチン接種体制の状況は。
- A 血中酸素濃度等健康観察を行い、重症化する前に医療につなげてきた。ワクチン接種体制は医師会等と協議・調整を行い、会場確保等急ピッチで進めている。
- Q ワクチン接種会場へ車椅子利用者も安心して来場できるよう動画による情報提供を。
- A バリアフリー情報や導線の状況などを動画によりお伝えするのは、大変有効な手段の一つとして検討する。
- Q 戸越銀座商店街「感染症危機管理ガイドライン」の活用を。
- A 区内全商店街に配布し活用している。感染対応フローチャートは区HPに掲載するなど活用する。



健康

- Q 後期高齢者歯科健診の対象年齢拡大を。
- A 76歳～80歳に拡大し、設置する評価委員会で健診の検証を行う。
- Q がん検診の推進と情報提供について聞く。
- A 検診の受診行動につながる効果的な記事を掲載するなど、啓発リーフレットを全面的に刷新していく。また、サポート情報の冊子に、「アピアランスケア」の情報掲載を提案。提案どおり、掲載していく。

防災対策

- Q 公明党の要望により平成23年に実現した「防災ラジオ」が更新されるにあたり、高齢者や障がい者等への割引購入制度の導入を求める。
- A 防災行政無線のデジタル波移行に伴い、新機種を5,300個作成する。令和4年度からの販売にあたり、割引購入制度の導入を検討する。
- Q 障がい者避難支援を。
- A 障がい者避難個別計画は、相談支援員を中心に取り組む。
- Q 津波・高潮等の災害発生時、高層の都営住宅への緊急避難や空き住戸の活用が可能な制度構築を求める。
- A 区内36棟の都営住宅の共用部分への避難を可能とする覚書を東京都と締結するほか、空き住戸の活用についても検討する。
- Q 火災発生時、罹災者の支援体制の拡充を求める。
- A 宿泊についてホテル旅館組合と協議する。また、手厚い支援物資の提供を検討する。

子育て・教育

- Q 多胎児家庭をはじめとする子育て相談など Zoom の活用など全庁的なオンライン対応の拡大を。
- A 子育てに係る相談では「子育てかんがるープラン」でウェブ会議システムの導入を検討する。入園相談のオンライン化や電子申請についても実現に向けた検討を進める。
- Q GIGAスクール構想の実現に向け、タブレットの配布状況は。
- A 2月1日から19日までに、配布が完了。学習アプリを搭載し、学校以外でもオンラインで授業が受けられるようになった。
- Q コロナ禍での学校教育について、感染拡大時、在宅でのオンライン授業を実施したのは、何校か。
- A 3校あり、教科は時間割どおりに実施した。
- Q 文科省によるデジタル教科書の実証実験への参加を要望する。
- A 既に申請をしており、この成果を踏まえ、今後の活用の在り方等を検討していく。



障がい児者支援

- Q 指定管理者制度の選定過程の改善と今後、利用者中心の障がい者福祉の実現を求める。
- A 指定管理者の選定情報の更なる公開を検討する。また区外事業者の参入を進めるなど障がい者福祉の拡充を図っていく。
- Q 医療的ケア児者支援、発達支援の拡充を。
- A ピッコロの定員拡大、心身障害者福祉会館の整備を進める。医ケア児コーディネーターによる子育て相談、地域交流「インクルーシブ広場」を開設する。

困難を抱える方への支援

- Q 重層的支援体制整備事業の検討状況や実施時期の目途は。
- A 2021年度、全庁的に検討し、実施計画を策定する予定。着手可能なところから順次、体制整備を進める。
- Q 住宅確保要配慮者支援の拡充を。
- A 不動産団体と連携し具体的な住宅情報を提供するとともに、賃貸住宅オーナーへの協力金制度を開始する。



コロナ禍での女性の負担軽減を！

コロナ禍で経済的に困窮し、生理用品の購入に困難な状況があることが顕在化されたことで、品川区議会公明党は3月18日に濱野健区長に以下の緊急要望を区民とともに行いました。「防災備蓄品の活用、学校トイレに置くこと、継続的な実施、寄付受付の仕組みの構築」を要望し、濱野区長からは「区として何ができるか、女性職員の声なども聞き、前向きに検討する。」との話があり、区は、女性職員による「優しさをかたちにプロジェクト」を立ち上げ、4月6日から防災備蓄品を活用して区立学校トイレや公共施設に生理用品を配備して区民に提供しました。今後、この取組みの継続を強く要望してまいります。



公明党の区議会議員



若林 ひろき



たけうち 忍



こんの 孝子



塚本 よしひろ



あくつ 広王



つる 伸一郎



新妻 さえ子

皆様の声をお聞かせください。お気軽に、ご意見・ご要望をお寄せください。

電話 03(5742)6817

FAX 03(3774)3366

Eメール info@shinagawa-komei.org